

臨時職工ハ此ノ限リニ非ス  
但シ向フ六ヶ月間ハ現在職工ヲ減負スル意思  
ナキコトヲ声明ス

六、日給二月以下ノ職工ニ對スル増給ノ件ハ妻子其  
ノ他扶養ノ義務ヲ負フ為生計困難ト認  
ムル者ニ限リニ割以内ノ範圍ニ於テ二月ノ限度  
トシ相當補給ノ方法ヲ執ルヘシ

七、定期昇給ノ件ハ毎年一回九月ニ於テ詮衡ノ上  
昇給ヤシム  
但シ特別ノモノハ臨時選抜昇給ヲ行フ事ニシ

八、殘業歩増ノ件ハ旧ニ復ス  
九、職工往復配船ノ件ハ出来得ル限り改善ノ方法  
ヲ執ルトス

十、今回ノ件ニ付キ犠牲者ヲ出サハル事ヲ承認ス  
但シ其ノ行動常軌ヲ逸スル者ハ此ノ限リニアラス  
右大正十年六月二日附申出相成ル件ニ関シ回  
答候也

大正十年六月四日

藤永田造船所々主

永田三十郎

豊津工場職工代表

小國照一殿

松林勇殿

大島良一殿

竹内保殿

峰寅七殿

永剌留吉殿

本工場職工代表

本間震一殿

新名重次郎殿